

■iOS App の配布方法

	Standard	(AdHoc)		Enterprise(iDEP) (In-House)	Volume Purchase Program(VPP)	
配布手段	App Store	開発機から直接接続し配布	Testflightで配布		セキュアな専用配布サーバーが必要	Appleが専用ページを利用側に用意。
		内部テスター		外部テスター		
アプリ利用有効期限	特になし。	最大1年? 注：アプリ自体の利用期限はないと思われるが、開発ライセンスのプロビジョニングファイルの更新が1年に1回あるため、その更新作業が必要になる。	30日	30日	特になし。	特になし。
最大利用可能デバイス数	無制限	25 注：iTunes Connectに登録した、AppleIDx25アカウント。	2000	無制限	無制限	
利用可能者	iOSデバイス利用者全て。	25 注：iTunes Connectに登録した、AppleIDx25アカウント。	2,000	iDEP契約主体法人の従業員に限る。	購入企業内で、DLするURLとコードを配布した利用者。	
ライセンスの購入者	利用者個人	開発側(デベロッパーアカウント)がみとめたメンバー/一時的利用者の位置付け。		配布先企業 (Enterpriseライセンスを購入)	企業の代表者(アプリのライセンス)	
端末管理の容易性	アプリの管理は、利用者に委ねられる。			当該企業次第	企業内のアプリのインストール状態を厳密に管理しやすい。	
アプリ購入費用	Appleへの支払いを經由し、デベロッパーアカウントへ。	不要		—	Appleへの支払いは、企業が一括で支払う 注：法人カードが必要	
精算の手間	アプリの購入費用を利用者が個別に精算。	不要			アプリの購入費用を利用企業が一括精算。	
事前登録作業	App Storeへの登録は、誰もが行える。	iTunes Connect Membersへの登録が必要	外部テスターへの登録が必要	事前のデバイス登録不要	要事前登録。登録にあたっては、DUNSナンバーの入手が必要。	
審査	あり	なし	なし	簡易審査あり (1日程度)	なし	
その他				—	開発側企業は、アプリを「Custom B2B App」としてiTunes Connectに申請。	

2015/11/18 調査